

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（基幹型）



労働者健康安全機構 **新潟労災病院**

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

FAX：025(544)5210

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

## 「人は何のために生きるのか、私たちはどう生きるのか」 平成最後の桜の季節に思うこと

病院長 入江 誠 治

今年も希望に満ちた季節が巡ってきました。春を謳歌しているようにみえる桜は厳しい冬の寒さを経るからこそ美しい花を咲かせます。桜の木々は開花まで無為に過ごしていたわけではありません。花を散らせた夏の葉桜の時期に早くも固い蕾をつけ、葉から栄養を蕾に送り、やがて落葉。その後は来るべき春に備え、越冬芽となり冬の風雪に耐えます。

「置かれた場所で咲きなさい」という著書で知られる、故 渡辺和子さんはまた、次のような言葉を残しています。「花を咲かせようとして叶わない（不遇の）時は、地中にしっかり根を張れば良い。辛抱強く耐え、飛躍に向けての準備を怠らなければ必ずチャンスは巡って来る」。

苦境・逆境の時をいかに過ごすか、つまり、希望を失わず開花に備えて努力を継続することが重要なのであり、女神がほほ笑むのはそうした人に対してです。「自分はこんなに努力しても報われない、誰も正當に評価してくれない」という人がいますが、本当にそうでしょうか。一般的に自己評価は客観的評価の3～10割増しだといわれます。果たして本当に精一杯の努力をしたのか、努力が足りなかったのではないかと自問し、成功するまで努力すればいいのです。

この世は理不尽に満ちています。そしてみんなが平等でもありません。しかし、理不尽に打ち勝ち、逆境を乗り越えた人は、なぜか穏やかな表情を浮かべ幸せそうに見えます。富や名誉や地位を得ても心が貧しい人は少なからずいます。反対にたとえ貧しくても、清く、正しく生きることによって価値を見出し、感謝の心を忘れず、他者の幸せを心から喜べる人もいます。はたしてどちらが幸せでしょうか。

さて社会情勢に目を転じると、我々は世界にさきがけ、いち早く少子高齢化の時代に突入しました。高齢者はさらに高齢化し、女性高齢者、独居高齢者、貧しい高齢者が増



え、社会を支える人たち（「家族」、介護福祉職員、警察官、消防士、自衛隊員、郵便局職員、地方銀行、電気・ガス・水道業者、土木建築業者、デパート・小売り業者、パイロット、バス・電車運転手、ガソリンスタンド、宅配従業員、農林魚業後継者等）が減少し、学校や地方自治体の統廃合が進み、税収も減り、さらに医師・看護師の偏在には歯止めがかかりません。今後、地方都市を消滅から救うためには、AIやロボットを利活用し、コンパクトで住みやすい街づくりを進め、外国人労働者と上手に共生し、高齢の隣人同士助け合い、次代を担う志の高い有為な若者たちを育て、持続可能な温もりのある社会を築いていくことが必要です。我々は次世代のために道を切り拓く使命を負っているのです。若者たちが眼を輝かせ、夢を語れる上越・新潟・日本を創りたいと願ってやみません。

では、新潟労災病院はどうするのか？医師不足の逆境の中で、各職員がスキルを磨き、実力を蓄え、活動範囲を広げ、求められる良質な医療を誠実に提供する。このことに尽きます。逆境こそはより良く変わるチャンスであり、組織がどういう意識で取り組んでいるのかを内外に示す絶好の機会です。当院は医師確保のためのあらゆる努力を継続し、従来の整形外科を軸とする急性期医療と透析医療・歯科診療は堅持します。加えて、特に特定看護師・診療看護師（ナースプラクティショナー）の養成や理学療法士・作業療法士の増員により、回復期医療、在宅医療・看護、緩和ケアに注力します。また近隣医療機関、介護・福祉・産業保健関係各位との連携を強化し、新潟県・上越市・関連大学病院のご支援の下、職員一丸となって引き続き地域医療・勤労者医療に尽力致します。

「望みを失わないものだけに、道は開ける」その信念は微塵も揺らぎません。地域住民にとって、そして職員にとって魅力ある病院へと脱皮を図ります。今年度も皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



## ☆☆☆ 医師の異動について ☆☆☆

採用(4/1)

整形外科医師      なかやま 中山 じゅんぺい 純平  
 歯科初期臨床研修医      うちだ 内田 しゅん 俊

退職(3/31)

リハビリテーション科部長      村田 高  
 第2脳神経外科部長      野村 俊春  
 内科医師      笹川 香織  
 歯科初期臨床研修医      氏田 倫章

プロフィールについては、次号でお知らせします。

# 尿検査異常と腎臓病

内科部長 土田 陽平

皆さん、『慢性腎臓病（CKD）』という病気をご存知でしょうか？大まかにその定義を述べますと、「腎臓の機能（腎機能）が正常の約 60%以下に低下している、もしくは尿中に蛋白が出ている、またはその両方が 3 か月以上続いている」状態です。腎機能？と思われる方もおられると思います。腎臓は我々の腰の辺り、左右にある握りこぶし大の臓器ですが、体中の細胞から血液中出现きたゴミ（老廃物）を尿中に捨てて血液をきれいに保つ働き、尿量を調整して体内の水を必要量に保つ働きなどを担っています。CKD の際の“腎機能”は血液をきれいに保つ働きを指します。この腎臓が十分に働かなくなると、血液がきれいに保てない結果として具合が悪くなる（尿毒症と言います）、不要な水を対外に捨てられず、体内の水が過剰となって、むくむ、呼吸が苦しくなる、などの症状が出現し得ます。

体を健康に保てないほど腎機能が低下した場合は、透析療法や腎移植が必要になります。2017 年末に国内で透析を受けている方の原因疾患は糖尿病による糖尿病性腎臓病が約 40%で 1 位、慢性糸球体腎炎が約 30%で 2 位となっています。

糖尿病性腎臓病では高血糖が長期間続いた結果、腎臓の細い血管が障害されて、腎臓が障害されます。一方、慢性糸球体腎炎は 1 つの腎臓の中に約 100 万个含まれる小構造物“糸球体”で長期間何らかの原因で炎症が続き、腎臓が障害されます。

検診や人間ドッグでは糖尿病は尿糖、血糖値、HbA1c 値などで、慢性糸球体腎炎は尿蛋白、尿潜血などでその存在が確認されます。そのため尿検査異常を指摘された際はこれらの病気の可能性があります。

糖尿病性腎臓病、慢性糸球体腎炎を含む腎臓の病気で共通する特徴は「自覚症状に乏しい」ことです。そのため、検診や人間ドッグでその存在を指摘されても医療機関を受診しない、医療機関を受診しても通院を途中で止めてしまう方もいらっしゃるかと思います。しかし腎臓は再生力が低い臓器のため、糖尿病性腎臓病や慢性糸球体腎炎などで徐々に腎機能が低下した場合、劇的にその機能を回復できる治療はなく、その時点での腎機能を保つように努めることが治療の主眼になります。そうした中でも加齢による腎機能低下は避けられませんので、治療開始時の腎機能が低い場合、それだけ将来的に腎機能が廃絶し、透析療法や腎移植を要する可能性が高くなります。

検診や人間ドッグで腎機能異常、血糖異常、検尿異常を指摘された際は（勿論、他の検査異常でもですが、）自覚症状がなくても是非、医療機関を受診するようにしましょう。



## 2019年ゴールデンウィーク期間中の診療体制について

2019年ゴールデンウィーク期間（4月27日～5月6日）は、以下のとおり4月30日（眼科は休診）と5月2日の2日間を通常診療日として外来診療を行います。

日	月	火	水	木	金	土
	4/22 診療日	23	24	25	26	27 休診
28 休診	29 休診	30 診療日	5/1 休診	2 診療日	3 休診	4 休診
5 休診	6 休診	7 診療日	8	9	10	

病院長

### 消化器内科のお知らせ

毎週水曜日に消化器内科の外来診療を行います。胃内視鏡検査と消化器内科一般診療を予約制で行いますので、地域医療連携室までお問い合わせください。

なお、木曜日の午後（不定期）の消化器内科外来も従来どおり実施いたしております。

消化器内科（木曜日）実施日

H31. 4/18、5/2、16、30、6/6、20、7/4、18

（診療開始は全日13時からとなります。）

## 第44回合同研修会を開催しました

3月20日（水）に第44回新潟労災病院合同研修会を認知症ケア委員会研修会と合同で開催いたしました。

今回は「わかりやすい認知症講座」の演題にて当院の認知症サポート医である柿沼副院長より講演を致しました。

当日の講演では認知症の正しい理解とは、記憶のメカニズムを知ること。記憶は「記憶する内容」と「記憶が保持される時間」の2群に分類すると理解しやすい。また、神経細胞の概要を学ぶこと、認知症の原因、認知症薬の意味と注意点が簡単に整理できる。以上の要点を時折ユーモアを交えながら説明をいたしました。

最後に村田認知症看護認定看護師より院内における認知症ケアチームの活動について説明され、連携医療機関との更なる連携を図ることの説明をしました。

当日は院内外から多数の医療関係者のご参加を頂戴し、有意義な研修会となりました。改めてご参加いただきました皆様へ感謝申し上げます。



## 新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域医療に貢献します”



## 新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 急性期医療、回復期医療を通じ、地域医療における中核的な役割を担います。
4. 働く人の健康を守ります。

## 患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

## 患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
  - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
  - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
  - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
  - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

# 健診部からのお知らせ

## 乳がんの個別化検診

自分の乳腺がマンモグラフィに向いているのかどうかを知りましょう。

いまや乳がんは社会問題です。発症のピークは40歳代ですが、日本人にはデンスブレスト（高濃度乳腺）が多く、マンモグラフィだけではがんが見つからないことがあります。

そこで、当院の乳がん検診では、次のようにご提案させていただきます。

- ①一般的にはマンモグラフィをお奨めします。
- ②デンスブレストの女性には「マンモグラフィ+乳腺エコー」をお奨めします。エコーを併用することで、総合判定で結果の信頼性が高くなるメリットがあります。もちろん一般の方にもエコー併用はお奨めです。
- ③肉親に乳がんの患者の方がおられるなどの場合は、最低でも年に1回のマンモグラフィをお奨めします。

迷ったらご予約の際にご相談下さい。

※料金等は、10 ページ「がん検診・生活習慣予防コース」⑦乳がんをご覧ください。

## 午後コースについて

午後からの人間ドックでは、検査内容及び料金は基本コースと同様で、胃の検査は内視鏡検査を実施します。（医師の診察はありません。）

実施日 木曜日（不定期） 13:00～

4月18日 5月2、16、30日 6月6、20日 7月4、18日

※上記は4月～7月までの実施日です。8月以降も実施します。

※朝食、昼食は原則食べられませんが、朝食は朝8時までに、いつもの半分程度なら可能です。水分は十分に摂ってください。（ただし、牛乳、ジュースは不可）  
朝食を食べた場合は、空腹時血糖及び中性脂肪の結果は、参考値となりますので、正確な数値をご希望の場合は、朝食は食べないでお越し下さい。

# 人間ドック基本コースについて

胃の検査について「内視鏡」か「X線」のいずれかを選択できます。



## ◆内視鏡検査を選択される方

・料金 43,740円(税込)

・実施日 水曜日 8:15～

木曜日(不定期)13:00～ ※実施日は7ページ午後コースについてをご参照下さい。

・検査項目

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI
眼と耳の機能	眼底 眼圧 視力 聴力
問診 診察	情報提供と説明 指導
消化器	内視鏡検査(経鼻又は経口) 便潜血検査(2回法)
腹部超音波検査	肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・腹部大動脈
レントゲン	胸部X線
生理機能	呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回) 血液凝固検査
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣

## ◆X線(バリウム)検査を選択される方

・料金 38,740円(税込)

・実施日 第1・3・5金曜日 8:15～

・検査項目 (下記項目の検査以外は、内視鏡検査を選択された場合と同様です)

消化器	X線(バリウム)検査 便潜血検査(2回法)
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回)

※胃の検査なしでの申込みも受け付けておりますので、お申し込みの際お問い合わせ下さい。

※人間ドック基本コースには、院内食堂「エデン」又は売店で使用できる利用券がつきます。

## シニアコース

26,730 円 (税込)

※月・火・木曜日

シニアコースは、60 歳以上の方が積極的に健康づくりをするための健診です。

医療の進歩と予防の発展により、日本は類まれなる長寿国となりました。

この少子高齢、人口減少社会において安心して暮らしたいと思いますが、生活習慣病の重症化予防だけでは今までと何も変わらないでしょう。これからもできるだけ長く健康であり続けることで、生活の質を高め、長寿の幸せにつなげることは可能と思われれます。

検査項目	内容
腹部超音波検査	肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・腹部大動脈の疾患を調べます。
血液検査	肝腎機能 血糖 脂質 血球計算 炎症反応
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣
問診・診察・指導	情報提供と結果説明(医師) 栄養指導(管理栄養士)
身体計測	身長体重 腹囲 BMI
頸動脈エコー検査	頸動脈の動脈硬化の有無
心電図検査	不整脈と虚血性病変の有無

## お手軽ドック (生活習慣の簡易コース)

13,500 円 (税込)

※開始時間をご希望に応じます

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI 問診		
生理機能	胸部X線 血圧 心電図	眼の検査	眼底
血液 (肝・血糖・脂質)	AST(GOT) ALT(GPT) $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP) 血糖 HbA1c 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値		
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血		

## 歯科ドック (基本コース)

5,000 円 (税込)

## 歯科ドック (パノラマ撮影コース)

10,800 円 (税込)

基本コース	問診・歯周病検査・プラークや歯石の付着・口腔乾燥度・冠、ブリッジ、義歯の状態・結果説明
パノラマ撮影コース	問診・歯周病検査・プラークや歯石の付着・口腔乾燥度・冠、ブリッジ、義歯の状態・X線撮影での骨病変の有無の確認・結果説明

## がん検診・生活習慣予防コース

胃内視鏡検査は、午後でも実施しております。

(★は1日ドック、☆はお手軽ドック、●はシニアコースに含まれます。)

### がん検診コース

	内 容	料 金(税込)
①甲状腺がん	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,100円
②肺がん	低線量肺がんCT	9,720円
★③胃内視鏡検査(午前・午後)	血液凝固検査を含む	16,200円
★④大腸がん	便潜血(2回)	1,620円
⑤肝胆膵がん	★●腹部超音波 肝炎ウイルス(B型、C型)	8,046円
⑥前立腺がん	PSA	1,836円
⑦乳がん	マンモグラフィ 乳腺エコー	9,936円
	マンモグラフィ	6,264円
⑧子宮がん	内診 子宮頸部細胞診 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)	4,320円
⑨腫瘍マーカー	CEA CA19-9 AFP	3,240円
⑩アミノインデックス がんリスクスクリーニング検査	男性(胃・肺・大腸・すい臓・前立腺がん)	24,840円
	女性(胃・肺・大腸・すい臓・乳・子宮がん)	

### 生活習慣病予防コース

骨密度測定検査が変わりました！今までは腰椎のみを測定しておりましたが、この度大腿骨頸部を追加し、測定部位が腰椎＋大腿骨頸部へととなりました。2か所を測定することでより正確で詳細な結果が得られます。

	内 容	料 金(税込)
●⑪頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	5,940円
★⑫肺年齢	呼吸機能	3,240円
⑬骨密度検査	X線(腰椎＋大腿骨頸部)	4,860円
⑭内臓脂肪測定検査	腹部CT	3,240円
★☆⑮インボディ測定	体成分分析装置(骨格筋量測定)	540円
⑯睡眠時無呼吸検査	自宅で睡眠時に測定(機器貸出し)	5,400円

### 感染症検査

	内 容	料 金(税込)
⑰肝炎ウイルス検査	B型(HBs)、C型(HCV)	2,322円
⑱HIV検査	HIV	1,404円

人間ドック・がん検診コース・生活習慣病予防コース・歯科ドックは予約制です。

下記①②のいずれかの方法でご予約下さい。

- ① お電話または医事課0番窓口にてお申し込み下さい。  
電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30~16:00
- ② 人間ドック申込書(新潟労災病院ホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロード)に必要事項を記入し、新潟労災病院医事課へ郵送またはFAXして下さい。  
〒942-8502 新潟県上越市東雲町1-7-12  
新潟労災病院医事課ドック検診担当 FAX 025-543-7110



## 散歩道



10年前、娘は少しだけ病気を持って生まれてきました。産まれたばかりの頃は、「なんで生まれながらにして、こんな試練を与えて産んでしまったのだろう」と何度も泣いたけど、今となってしまえば全ていい思い出。あの時の「必ず治してあげるからね。なんでうちの子だけ…なんて思わなくていいからね」と言ってくれた主治医の先生。1歳児健診で「よくここまで大きかったね」と言ってくれた保健師さん。10年経っても忘れません。

振り返れば、いろいろな人に助けられ、娘にもたくさん楽しませてもらってきた10年でした。「お母さん」にしてもらったなあと感謝です。もうすっかり「女子」なので、二人でカフェに行ったり、買い物したり、女同士で楽しめることも増えてきました。今年は1/2成人式が待っています。将来の夢を発表するらしいのですが、聞くと「やりたいことがありすぎて決められない」そうです。この先の10年も母は楽しみです。



(E. S)